浪江町農業委員会総会議事録 (令和6年11月定例会)

1 開催日時 令和6年11月20日(水)午後1時30分から午後3時25分

2 開催場所 浪江町役場 2階 202会議室

3 出席委員(11人) 欠席委員(1人)

会長	4番	菅野 富美恵	(出)
会長職務代理者	1番	鈴木 敬二郎	(出)
委員	2番	松田 孝司	(出)
	3番	岡 高志	(出)
	5番	中野 弘寿	(出)
	6番	小澤 英之	(出)
	7番	高野 順	(欠)
	8番	加藤 修	(出)
	9番	川島 優	(出)
	10番	柴野 正男	(出)
	11番	武藤 栄治	(出)
	12番	三瓶 徳久	(出)

4 出席農地利用最適化推進委員(16人)

浪江地区担当	畠山 行男	苅野地区担当	藤田 一宏
幾世橋地区担当	鎌田 光男	苅野地区担当	高野 諭吉
幾世橋地区担当	廣内 忍	苅野地区担当	吉田 あや子
幾世橋地区担当	木幡 裕秋	苅野地区担当	松本 善郎
請戸地区担当	脇坂 薫	苅野地区担当	笠井 宏光
大堀地区担当	遠藤 定郎	津島地区担当	今野 勝彦
大堀地区担当	山田 勝広	津島地区担当	木幡 一郎
大堀地区担当	半谷 祥一	津島地区担当	三瓶 禎信

5 議 事

議案第1号	農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件(所有権移転)	1件
議案第2号	農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件(地上権設定)	1件
議案第3号	農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請に対し審議の件	2件
議案第4号	農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件(所有権移転)	3件
議案第5号	農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件(賃借権設定)	1件
議案第6号	現況確認証明申請に対し審議の件	1件

6 事務局職員

事務局長	金山 信一
事務局次長	長沼 和也
事務局係長	国分 丈典
事務局員	吉田 奈津子
事務局員	西谷地 勝成

議長 それでは、只今より 11 月定例会を開会いたします。
ただいまの出席委員数は 11 名 でございます。また、推進委員数は 15 名 で
ございます。定足数に達しておりますので、会議を始めます。
まず、本日の議事録署名人を指名いたします。先に通知しておりましたとおり、
6 番小澤委員および 10 番柴野委員にお願いいたします。

それでは、議案の審議に入ります。
議案第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請に対し審議の件 所有権移転 1
番について事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。(議案書 1-1 ページ 1 番読み上げ)

説明は以上です。よろしく申し上げます。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

山田推進委員 大堀担当の山田です。
11 月 13 日電話で譲渡人〇〇さんと譲受人〇〇さんに説明を受けました。〇〇さん
は現在埼玉県に住んでおられて、小野田の田畑の管理はちょっと難しいとい
うことで、畑の隣に住んでいる〇〇さんの方に話をしましたら、〇〇さんの方も
息子の自宅の傍であるということで購入を決めたそうです。それで、所有権移転
後の管理につきましては、〇〇さんの方は申請書にある通り、機械等も揃えてあ
りまして、家族 3 人で周辺に迷惑を掛けないように仕事を進めて行くことであり
ましたもので、皆様の審議よろしくお願いいたします。以上です。

議長 事務局、地元推進委員の説明が終了しました。
これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
(質疑なし)
質疑無しと認めます。
それでは採決に入ります。採決は起立により行います。
議案第 1 号 1 番に賛成の委員の起立を求めます。
(起立多数)
議案第 1 号 1 番は原案のとおり承認を与えます。

推進委員が只今遅れておりますので、戻りましたらまた議案の方を進めてまいり
たいと思います。それまでですね、議案第 4 号の 2 4-14 ペジから進めてまいり
ます。

議案第 4 号 農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対し審議の件 所有権
移 2 番について、事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。議案書の方は 4-1 ページをご覧ください。
議案第 4 号を読み上げる。
説明いたします。(議案書 4-1 ページ 2 番読み上げ)
・ 4-17 ページ、4-19 ページ、4-23 ページ差し替え【追加・差し替え資料④】
現地調査時に指摘があった、パネル設置時に大型機械の出入りが想定されるため、
道路側溝の養生をする旨、追記がありました。
また、申請農地の北側に位置する農地への出入りについて、法面とフェンスの間

に耕作通路を設けることということで、土地利用計画図の訂正がありました。

本件は、株式会社〇〇〇が申請する野立ての太陽光発電設備の設置に係る申請です。

申請地の位置については、4-20 ページをご覧ください。

農地の種類は、周囲を山林や河川に囲まれた小集団の生産性の低い農地となりますので、第2種農地となります。

農地法【第6版】26 ページをご覧ください。下の方に第2種農地の表記があります。そこから出ている灰色の線をたどっていきますと、「第3種農地に立地困難な場合等に許可」とあります。

4-26 ページをご覧ください。第2種農地は、当該農地に代えて周辺の他の土地では事業目的が達成できない場合に許可できるものとなっておりますが、他の土地を検討したが当該地しか適当な土地がなかったという検討がされておりますので、立地基準は問題ありません。

一般基準の資力については、残高証明書を提出いただき、事務局で問題ないことを確認しております。

周辺の農地への影響ですが、北側に隣接する農地への進入路について法面とフェンスの間に耕作通路を設けるという対応をすることで、差し替え資料の提出がありました。

本案件は、福島県知事が許可権者となっておりますので、当委員会の意見を付して県へ進達いたします。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

吉田推進委員 苅野地区担当の吉田です。
譲受人〇〇〇担当の方とは、11月15日に電話で確認を取りました。浪江、富岡、いわき、南相馬市などで物件を探していたところ、浪江町で何件か設置していたため、〇〇さんの農地にもどうかと郵送で案内したところ、〇〇さんは農業経験もなく、また後継者もないため、この事業に賛同されて決まったとのことでした。譲渡人〇〇さんとは11月15日に電話で確認を取りました。〇〇さんのお爺さんが亡くなり、お父さんはサラリーマンだったため農業はしていなかったのですが、部落の方が農地を利用してくださっていたとのことでした。お父さんが亡くなられて相続をしたのですが、〇〇さん自身、農業の経験もなく、また、お子さんは未だ中学生と高校生のため、浪江町に戻って農業をすることは出来ないとのことでした。また浪江町に帰って来たとき、周りに太陽光パネルが上がっていたのを見て太陽光発電施設を考えたとのことでした。そんな時ダイレクトメールが〇〇〇さんから届いて決めたとのことでした。以上です。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

武藤委員 11月13日現地調査、会長さんはじめ推進委員、農業委員、現地を確認いたしました。4-23 ページ平面図をご覧ください。上に隣接した農地があるんですけども、そこで菅野会長が、東側の農道が侵食されていて出入り出来ないため、西側の道路に隣接したところから上段の農地へ出入りする用地を確保してくださいというふうな会長直々の言葉でした。それで、昨日の夕方まで返答が来ましたかと事務局に尋ねましたが、その時点ではまだ無かったです。そうしたならば、昨日ぎりぎりまで連絡があったということです。平面図のように、境界から2メー

トルにフェンスを立てるということで、2.5メートルを確保しますという連絡が来ました。それで一步前進はしたんですけれども、私ども、今、農機具が中型から大型化になって、2.5メートルでは管理がどうなのかなというふうな考えがありました。以上、ご判断は皆さんに委ねたいなと考えました。以上でございます。

議長 事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

はい。5番中野委員。

中野委員 4-23ページの図面を見ますと東に水路がありますよね。排水路。ここ崩落している部分があるかと思えますけれども、ここに砂防ダムがあるわけです。この砂防がかなり崩れておりますので非常に問題があるのではないかなと考えます。それから、先ほど武藤委員の方からありましたように、2.5m。今の農作業機械、殆どロータリー大きいやつで作業幅が2.4mであって、実際は2.6mあります。そういうものが通るとなれば3メートル以上確保しなくてはならないと思えます。

議長 その他質疑ございますか。それでは今中野委員からご提案がありました2.5mの通路の確保では足りないのではないかというご意見がございましたけれども、これについて皆さん如何でしょうか。

はい1番。鈴木委員お願いします。

鈴木委員 鈴木です。私が言いたいのは、この人だけが2.5mで使うのであれば別に問題は無いと思ったんですよ。上の農地に行けないからということなんです。理解出来ました。

議長 鈴木委員からご指摘ありましたように、4-23ページを見ると右側の畦畔は既に崩落をしております。上に2筆農地がございます。一つは譲渡する側の〇〇さんの農地、その上には別に2筆農地ございまして、現段階では、〇〇さんの案件の農地を通らなければ上の農地を作業することが出来ないということでした。中野委員が、2.6mのロータリーの幅があるから2.5mでは通路としては不十分ではないかご意見がございました。事務局にお尋ねいたします、この2.5mについて提示がなされた時の根拠のようなものはございましたか。

事務局 事務局より説明いたします。2.5mの根拠に付いてお尋ねしたところ、現地調査の際にですね、現地調査に参加された委員さんの方から2.5m以上あれば何とか通れるんじゃないか、大型機械で無いにせよ、2.5mあれば草刈機械等が通れるんじゃないかとアドバイスを受けたので、その数字であげて来たところだというふうなご回答を頂いたところです。

議長 今事務局からありました通り2.5mあれば、委員会の方の提案を受けた数値ということでございます。一番狭いところで2.5mという判断でよろしいでしょうか。広いところで2.7m。上の方の法面については3.0mを超えているというところがございます。これについて、実際問題、上の農地が耕作出来ないようなフェンスの立て方2.5mでは駄目だという判断を委員会の方ですか。

武藤委員 武藤なんです。小さなトラクターであれば、出入りは可能です。でも今は、中

型化・大型化していますから、出入りできません。その辺の判断なんです。以上です。

議長 只今ご意見がありました。このご意見以外で何かございますか。

事務局 事務局からですが、処分に対する農業委員会としての正式な見解といたしますか、何に基づいてそれを仰ったんですかというところは、今後問い合わせはあるかなとは思いますが。そこを踏まえて審議する必要があるかなと思えます。

議長 現状草刈業務をされていたということで、吉田推進委員にお尋ねしたいんですけども、現在、大きなトラクターで草刈等の管理を実施されていたという経緯はございますでしょうか。

吉田推進委員 分かりません。

議長 現状で今回の案件について、指導というか、お願いというか、そうすべきだったのかなと思えます。

はい。5番

中野委員 隣接地を管理している地主さんの方に〇〇〇は確認しているのかな。本来であれば隣接しているのが当然ですよね。〇〇〇さんが、その人が出入りできるにはどれぐらい必要ですかと確認して、通れるようにしてくれるのが業者として当たり前のことだと思います。

議長 11番。

武藤委員 武藤です。私も建設業では場整備を長くやっていますが、ほ場整備では農道、作業通路の最低幅が3.0mなんです。両肩50cmづつ碎石を敷かないで、真ん中が2.0mに碎石を敷いて、ほ場整備の農道は、敷幅3.0m以下の道路はありません。以上です。

議長 はい。ありがとうございます。事務局に再度お尋ねいたします。調整状況報告書では如何でしょうか。

事務局 4-50ページ以降をご覧ください。こちら、今回の申請農地の下り藤農地の調整状況報告書になります。隣接農地となりますと〇〇様、こちら隣接農地所有者の方の御一人です。事業計画については本人了承という事で、要望に対しても現状なしと、書類として提出されておりますので、これ以上のことについては事務局では確認はしていません。

議長 そうしますと、現地のアドバイスも頂いて、フェンスの方を引っ込めて2.5mを確保して、当該農地、上の農地の耕作者についても確認し、了承を得るような書類でございます。このことを踏まえてご判断いただきたいと思えます。

事務局 追加で事務局より説明があります。
資料の4-22ページをご覧ください。公図がありますが、今回赤くなっているところの上の方〇〇さんと書いてあるかと思えますが、〇〇さんは〇〇さんで、町道か

ら入る道が別に確保されているようなので、〇〇さん以外はこの 2.5mの道路は通らないのではないかなと思います。以上です。

議長 只今事務局より補足の説明がございました。本来であれば〇〇さんご自身が耕作する場所ではございましたが、只今、復興組合等で草刈等は既に行われていた土地でございます。〇〇さんご自身も、先ほど吉田推進委員からもありました通り耕作はしていなかった状況でございます。〇〇様以外の方が不利益を被るところでは無いというような事務局の補足説明で理解することが出来たかと思えます。そのことを踏まえまして審議進めていただきたいと思います。その他質疑はございますか。

6 番。

小澤委員 再確認なんです、〇〇さんに降りる道が間違いなくあるという理解でよろしいわけですね。

議長 確認いたします。暫時休議いたします。
(進入路の確認)
再開いたします。

只今小澤委員より、〇〇様の進入路があるのかどうかという確認をとということで、休議しまして確認したところ、確かに進入路があるという事で確認をいたしました。あと上に残るのはこの案件の〇〇さん所有の農地のみということでございます。以上のことを踏まえまして許否を取ってまいります。よろしいでしょうか。その他の質疑ございますか。それでは採決に入ります。

それでは採決に入ります。採決は起立により行います。

議案第 4 号 2 番に賛成の委員の起立を求めます。

(過半数を超えました)

起立過半数を超えております。よって議案第 4 号 2 番に原案のとおり承認を与えます。

事務局 議案第 4 号 農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する審議の件 所有権移転 3 番について、事務局の説明を求めます。

説明いたします。(議案書 4-1 ページ 3 番読み上げ)

・追加資料【追加・差し替え資料②】

事務局で、農地転用候補地一覧について議案として綴じるのを失念していました。追加で配布いたします。

本件は、株式会社〇〇〇が申請する野立ての太陽光発電設備の設置に係る申請です。

申請地の位置については、4-59 ページをご覧ください。

農地の種類は、周囲を山林や河川に囲まれた小集団の生産性の低い農地となりますので、第 2 種農地となります。

農地法【第 6 版】26 ページをご覧ください。下の方に第 2 種農地の表記があります。そこから出ている灰色の線をたどっていきますと、「第 3 種農地に立地困難な

場合等に許可」とあります。

本日配布しました【追加・差し替え資料②】をご覧ください。第2種農地は、当該農地に代えて周辺の他の土地では事業目的が達成できない場合に許可できるものとなっておりますが、他の土地を検討したが当該地しか適当な土地がなかったという検討がされておりますので、立地基準は問題ありません。

一般基準の資力については、残高証明書を提出いただき、事務局で問題ないことを確認しております。

周辺の農地への影響ですが、排水や日照等特段影響がないものと考えられます。本案件は、福島県知事が許可権者となっておりますので、当委員会の意見を付して県へ進達いたします。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

吉田推進委員 苅野地区担当の吉田です。前の下り藤〇番〇と同じです。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

武藤委員 同じく13日現地確認をいたしました。4-62を参照してください。現地確認をしたところ、この案件に対しては、何ら支障は無いのかなど、ただ、進入路が河川敷と隣接になります。河川敷から出入りすると河川の許可が必要なので、河川からずれて進入路というふうな案件ですので、私は、これは良いのかなというふうな考えを持って確認をいたしました。以上でございます。

議長 事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
(質疑無し)

質疑無しと認めます。

それでは採決に入ります。採決は起立により行います。

議案第4号3番に賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数であります。よって議案第4号3番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、

議案第6号 現況確認証明申請に対し審議の件について、事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。(議案書6-1 ページ1番読み上げ)

申請地の位置は、6-3ページをご覧ください。

非農地となった経緯については、6-6ページをご覧ください。昭和53年頃から耕作をやめ、原野化し今に至るとのことです。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

吉田推進委員 ○〇さんとは11月15日に電話で確認を取りました。お爺さんが亡くなり相続し

ましたが、お父さんは農地を耕作していませんでした。お父さんも亡くなり相続した〇〇さんも耕作する意思がなく今に至っているとのことでした。以上です。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

武藤委員 13日現地を確認いたしました。現況は田ということでありますけれども、勾配がついています。それで河川と隣接している農地ですので、河川土砂というのかな、自分の握りこぶしぐらいの石がいっぱいある農地で、ですからトラクターや農機具等で刈り払いも出来ない、大体原野に近い農地でありました。皆さんの判断を頂きたいと思います。以上でございます。

議長 事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

(質疑無し)

質疑無しと認めます。

それでは採決に入ります。採決は起立により行います。

議案第6号1番に賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数であります。よって議案第6号1番に原案のとおり承認を与えます。

休養いたします。

(次議案の確認)

再開いたします。

つづきまして、

議案第2号 農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件 地上権設定 1番、

議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請に対し審議の件 2番 及び

議案第5号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件 賃借権設定 1番について、関連しておりますので一括審議としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは一括審議といたします。

議案第2号 農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件 地上権設定 1番、

議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請に対し審議の件 2番 及び

議案第5号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件 賃借権設定 1番について、事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。(議案書2-1ページ1番、3-1ページ2番、5-1ページ1番読み上げ)

本件は、株式会社〇〇〇が関わる営農型太陽光発電設備設置に係る申請です。

申請の位置については、5-10ページをご覧ください。山麓線から〇〇〇に入る道路沿いにあり、農地の種類は、農用地区域内農地です。

転用となる部分は、太陽光パネルを支える支柱と引込柱の箇所のみとなり、0.406㎡となります。本年5月31日付で県より許可を受けていましたが、転用事業者が変更となるため、事業計画の変更申請がありました。

そのため、改めて3条の地上権設定と5条の賃借権設定の申請があったものです。5-13ページに土地利用計画図がありますが、すでにパネル下でサカキ、敷地の南側ではシキミを植付け栽培しております。

一般基準の資力については、残高証明書を提出いただき、事務局で問題ないことを確認しております。

本日配布しました【追加・差し替え資料③】をご覧ください。11月13日に現地調査した際、11月12日から今回の申請者である「〇〇」氏の名前で発電を開始しているという標識を確認しました。許可を得ずに発電を開始していることの経緯をご説明していただくため、顛末書の提出がありました。

当委員会のガイドラインで提出を求めている書類については、5-44ページから設備の保守に関する契約書、5-89ページが確約書、5-90ページから調整状況報告書となっています。また、【追加・差し替え資料⑤】については、売電を証する書類として電力需給契約書の資料が提出されています。

本案件は、議案第2号1番は当委員会が許可権者となりますが、議案第3号2番及び議案5号1番は福島県知事が許可権者となりますので、当委員会の意見を付して進達いたします。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いいたします。

半谷推進委員 大堀地区担当の半谷です。

11月13日現地確認をして来ました。そして、18日に設定人と非設定人に確認を取りました。〇〇さんは〇〇〇さんから6月ごろ、当初計画者が変わりますと連絡があったそうです。当初計画者〇〇〇に話を聞きまして、やはり5月に連絡できず、税制優遇を受けられないため契約キャンセル、撤退しますということを知っていた。〇〇様なんですけど、〇〇〇とはなにか繋がりがありますかということを知ったんですが関係は持っていない。ただ、〇〇様としては太陽光発電の投資に興味があったみたいで、同じ業者の〇〇〇と繋がりがあったという状態で、こういう契約になったと思います。以上です。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明をお願いいたします。

柴野委員 柴野です。

11月13日会長、事務局、武藤委員、半谷推進委員、小澤委員で、〇〇〇代理人行政書士〇〇様、〇〇〇の〇〇さん説明のもと現地で確認しました。只今事務局なり推進委員様が説明しましたが、現地確認者としても結局、事業計画の変更に当たり11月12日付売電している、表示板にも書いてある通り役場の職員さんも写真も撮ってあると思いますが、売電しているということが問題であり、私としては顛末書が出ていたとしても問題ありかなと思って、〇〇〇様のこの現場に3度ほど行って現地確認をしたことあるんです。〇〇〇様のやり方が問題であり、これは私としても納得いかないような状況でありましたので、今回、私自身は問題ありと思ってお話ししたいと思っております。皆さまのご審議よろしく申し上げます。

議長 事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

はい。6番。

小澤委員 顛末書の3要因で、申請が10月受付ではなく、11月受付になったという記載があって、議案書5-2の申請日が9月27日、農業委員会の受付10月8日になっているところなんで、こここのところの説明をお願いしたいと思います。

議長 事務局説明をお願いいたします。

事務局 事務局より説明をさせていただきます。郵送で送られて来たものなんですけれども、9月28日に到着したんですが、到着した段階で一部資料が意見書の不備がございまして、こちら営農型太陽光発電施設になりますので町の意見書というものが必要になっているんですが、未達なので意見書が揃ってから本收受をさせていただきました。〇〇〇の〇〇さんに了承を得ました。書類が整いましたのが10月8日でした。説明は以上です。

議長 はい。よろしいでしょうか。

小澤委員 了解しました。

議長 その他質疑ございますか。
暫時、休議いたします。

(事務局からの説明が行われた)

議長 再開いたします。

議長 只今、皆様より貴重なご意見を頂戴いたしました。まとめますと、11月13日現地調査に参ったところ、〇〇〇さんの営農型発電施設は、現地で違反行為である売電行為が行われていたことを発見いたしました。その場で〇〇〇さんに直ぐに是正するようにとお願いをして現地を後にいたしました。その後、11月20日まで〇〇〇さんから是正についてどのように対応するのかについて待ってたという次第でございます。今回提出されました顛末書を見たところ、私共の是正の指導の足跡(県の許可が下りるまでは発電を止める)が見えないというような結果でした。これを踏まえましてこの案件をどのように取り計うかを、お諮りいたします。本案件が十分に是正がされていないというところで、この案件を決をとるか、それとも継続案件とし、〇〇〇さんの是正状況を待つかということを、先ず、採決の方を取りたいと思います。本案件、書類として是正について書類が不備であることから継続案件とすることに賛成の委員の起立を求めます。

はい。それでは本案件は関連するものも含めまして継続案件といたします。

訂正いたします。その前に、議案第2号1番に賛成の委員の起立を求めます。

起立多数であります。よって議案第2号1番に原案のとおり承認を与えます。

再度確認いたします。議案第3号2番と議案第5号1番は継続案件といたします。

つづきまして、
議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請に対し
審議の件 1番 及び
議案第4号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件 所有権
移転 1番についてですが、委員本人が関わっておりますので、浪江町農業委員
会 会議則第18条の規定により、〇番〇〇委員の退席を求めます。
暫時休議します。
(〇〇委員退席)
再開します。

議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請に対し
審議の件 1番 及び
議案第4号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件 所有権
移転 1番について、関連しておりますので一括審議としてよろしいでしょうか。
(異議なしの声)
それでは一括審議といたします。

議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請に対し
審議の件 1番 及び
議案第4号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件 所有権
移転 1番について、事務局の説明を求めます。

事務局

説明いたします。(議案書3-1 ページ 1番、4-1 ページ 1番読み上げ)

本件は、平成18年2月15日付で福島県より許可が出ている案件で、事業承継する
ため事業計画変更申請と改めて、農地法第5条の所有権移転申請がなされました。
当初計画者が、車庫と倉庫建設のために転用申請したが、事業が達成できません
でした。今回、承継する者が倉庫建設のため転用申請するものです。
申請地の位置は、4-8ページをご覧ください。
農地の種類は、周辺を宅地に囲まれた小集団の生産性の低い農地となりますので、
第2種となります。
農地法【第6版】26ページをご覧ください。下の方に第2種農地の表記がありま
す。そこから出ている灰色の線をたどっていきますと、「第3種農地に立地困難な
場合等に許可」とあります。
今回、ここに居住する者の日常生活上必要な施設であるため、ここに記載はあり
ませんが、不許可の例外である集落接続事業に該当しますので、立地基準は問題
ないものと考えられます。
一般基準の資力については、残高証明書を提出いただき事務局で問題ないことを
確認しております。
また、日照や排水等周辺農地への影響も特段ないと考えられます。
本案件は、3,000㎡以下の集落接続事業ですので、当委員会が許可権者となりま
す。
説明は以上です。よろしく申し上げます。

議長

つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

半谷推進委員 大堀地区の半谷です。
11月16日に譲渡人の当初計画者〇〇さんに連絡を取りました。今、震災以降に住所を転々としていまして、いま南相馬市原町区に住所を構え元の職場に通っているようです。承継者〇〇の〇〇さんには、13日現地で小澤委員と一緒に聞き取りを行いました。どうしてここを譲り受けしたんですかと聞いたんですが、つながりがあって、話は進んだそうです。〇〇の〇〇さんは、今は帰還困難地域に大玉村から通っているというような状態なものですから、〇〇さんの跡地に倉庫を建て、帰還したいということです。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

柴野委員 10番柴野です。11月13日現地確認をしました。只今、事務局、推進委員が説明した通り、承継者が浪江町に帰還するため、土地建物を購入すると、倉庫を建築する必要がありますということで現地調査をした結果、問題は無いと思います。皆様のご審議よろしくお願ひしたいと思ひます。

議長 事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。
これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
(質疑無し)

質疑無しと認めます。

それでは採決に入ります。採決は起立により行います。

議案第3号1番に賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数であります。よって議案第3号1番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、議案第4号1番に賛成の委員の起立を求めます。

起立多数であります。よって議案第4号1番に原案のとおり承認を与えます。

ここで〇番〇〇委員の入室を認めます。

暫時休議します。

(〇〇委員入室)

再開いたします。

以上で、本日上程されたすべての議事が終了しました。

令和6年11月20日

開始時刻 午後1時30分

終了時刻 午後3時25分

議 長

議事録署名人 (6番)

議事録署名人 (10番)